

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男) 2 回戦

試合日: 2014/08/03
開始時刻: 10:00~
会場: 船橋運動公園体育館
コート: Fコート
試合順: 第1試合(男) 2 回戦

Team A		Team B
明 成	87	報徳学園
(宮城県)		(兵庫県)

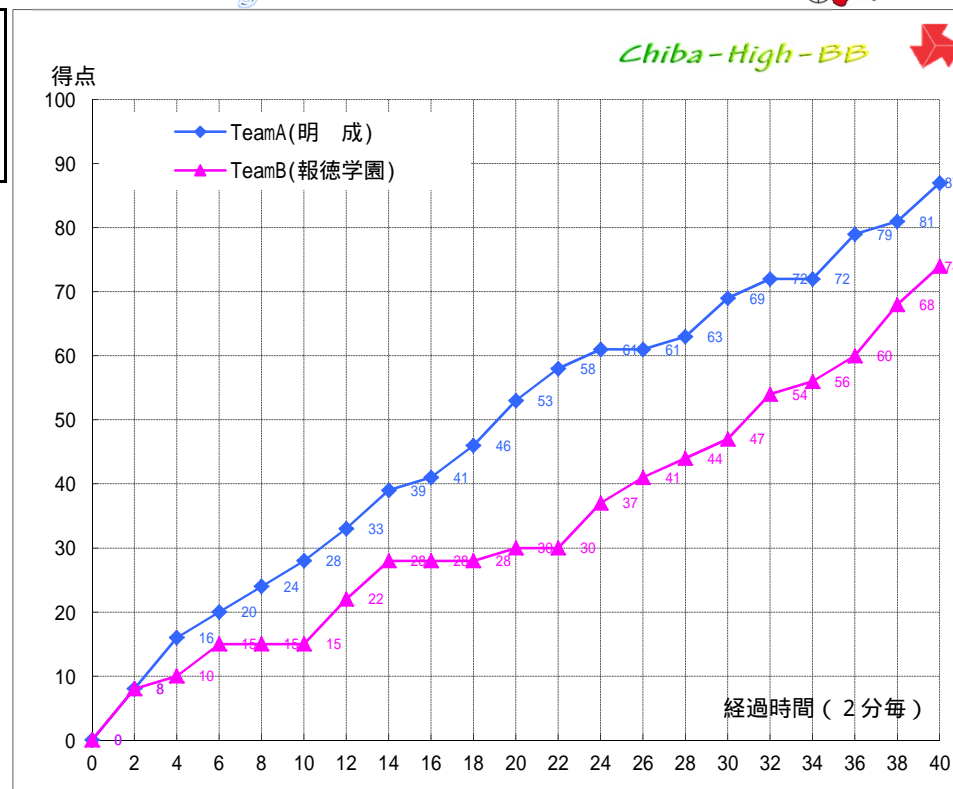
TeamA(明 成)

PT	選手名	得点	3分 イト		2分 イト		フリース- 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロッ クショット	ターン オーバー
			成	成	成	成			off	def	計			
4	増子 優騎	7	0	1	5	1	1	1	1	2	1	0	2	
5	柳瀬 亮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	納見 悠仁	18	0	8	2	1	1	10	11	7	1	3		
7	富樫 洋介	8	2	0	2	0	1	1	2	0	0	0		
8	八村 塁	30	0	14	2	2	3	11	14	0	2	2		
9	足立 翔	2	0	1	0	2	3	2	5	1	0	1		
10	三上 侑希	22	6	2	0	1	1	3	4	1	0	2		
11	江戸保 賢人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	江戸保 礼央	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
13	伊藤 修人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	井上 駿	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0		
15	清水 翔太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Team / Coach:						0	2	5	7			2		
合 計		87	8	26	11	8	12	35	47	10	3	11		

TeamB(報徳学園)

PT	選手名	得点	3分 イト		2分 イト		フリース- 成	反則	リバウンド			アシ スト	ブロッ クショット	ターン オーバー
			成	成	成	成			off	def	計			
4	岸 功一	17	5	1	0	1	1	5	6	1	1	0		
5	森光 悠馬	6	2	0	0	3	1	3	4	1	0	3		
6	金 剛 鉦	19	1	6	4	2	1	1	2	1	0	4		
7	中野 司	16	4	2	0	5	1	4	5	2	0	1		
8	更谷 知則	8	0	4	0	0	1	2	3	4	0	0		
9	岩橋 斉明	2	0	1	0	0	1	0	1	2	0	1		
10	岸 大我	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11	辰井 優志	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	0		
12	宮崎 蓮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13	落合 将太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
14	生越 陸也	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
15	坂本 拓馬	6	0	3	0	1	1	2	3	2	0	1		
16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
Team / Coach:						0	4	8	12			1		
合 計		74	12	17	4	16	12	25	37	13	1	10		

TO/CK/SS 千葉県高体連バスケットボール専門部所属高校バスケットボール部



	前半(1-2分リバ)	後半(3-4分リバ)	延1	延2	延3	延4
TeamA		31:09 39:31				
TeamB	12:45 18:00	34:15 38:05 38:59				

【戦評】

第1P明成 2 - 3 マッチアップゾーン、報徳ハーフマンツーマンで始まる。明成 # 8 のゴール下、報徳 # 6 の 3 p など残り 5 分 1 8 対 1 3、残り 3 分明成はハーフマンツーマン・2 - 3 マッチアップゾーンで報徳の攻めのリズムを崩し、2 8 対 1 5 で終了。第 2 P 報徳 # 1 5 のミドルシュート、# 7 の 3 P など残り 5 分 3 9 対 2 8 となるが、報徳 # 1 1 が 4 つ目のファウルなどで追いつききれず、5 3 対 3 0 で前半終了。第 3 P 明成 # 8 の連続得点などで 5 8 対 3 0、ここで報徳は 2 - 3 のマッチアップゾーンをする。明成がリズムを崩し報徳 # 4 ・ 7 の 3 P、# 6 のゴール下で得点し 6 9 対 4 7 と追い上げをはかる。第 4 P 報徳は積極的にダブルチームを仕掛け連続スティールをし、# 4 ・ 5 ・ 7 の 3 P 6 本などで粘りを見せたが、8 7 対 7 4 で高さに勝る明成が勝ち上がった。

審判	谷古宇 孝 / 唐渡 大輔 /	戦評	青木文雄
----	-----------------	----	------